

ふるさと納税を

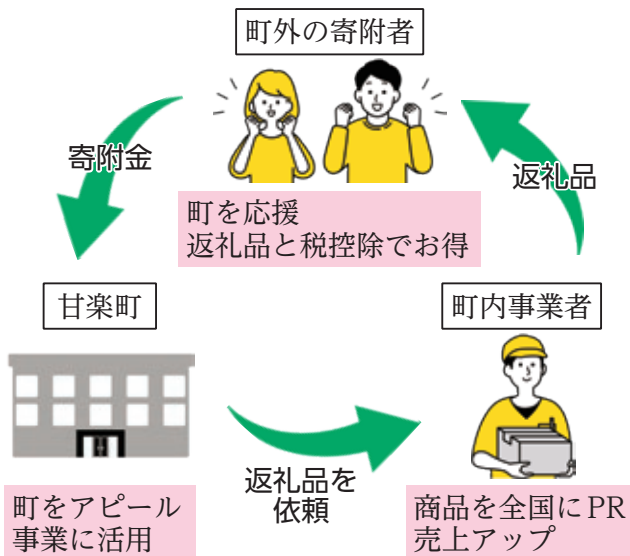
活用した町づくり

ふるさと納税とは

「納税」という言葉が付いていますが、実際には応援したい自治体に「寄附」ができる制度です。

町でも、特産品に加え宿泊などのサービスを全国の寄附者に提供し、町の魅力を発信しています。

詳細はこちらから↓



令和6年度「ふるさと納税」実績(2024.4.1～2025.3.31)

事業の区分	件数	金額
① 歴史を生かしたまちづくりに関する事業	714	1,223万8,000円
② 自然環境の保全に関する事業	359	593万9,000円
③ 健康増進および福祉の向上に関する事業	150	303万円
④ 子育て支援に関する事業	958	1,629万5,700円
⑤ 産業の振興に関する事業	357	308万7,000円
⑥ 教育・文化・スポーツ活動の充実に関する事業	172	486万6,000円
⑦ 住民参加のまちづくりに関する事業	226	738万9,391円
⑧ 移住、定住、就業を応援する事業	64	93万8,000円
⑨ その他目的達成のために町長が必要と認めた事業	767	1,943万7,000円
合計	3,767	7,322万91円

寄附金の使い道は、左記9事業の中から選択できます。

寄附金は「ふるさとづくり基金」として積み立て、それぞれの事業に活用しています。

自慢の品を登録しませんか

返礼品事業者を募集中！

町では、ふるさと納税の返礼品を提供する事業者(個人・企業・団体)を募集しています。町内で生産・製造された品や町内で提供するサービスが登録可能です。

手続きは、職員がサポートします！話を聞くだけでも構いませんので、財政係までお気軽に問い合わせください。

登録された返礼品は、ふるさと納税ポータルサイトに掲載！



←事業者募集の詳細はこちらから

登録のメリットが たくさん！

登録料など 無料！ | サイトへの掲載料や広告宣伝費などはかかりません

全国へ PRが可能！ | ふるさと納税サイトに返礼品が掲載され、全国にPR

販路開拓・拡大へ！ | 新たな販路と新規顧客の獲得が期待できます



国際協力の現場から ―

JICA・森田隆博さんに聞く

■ 問い合わせ 企画課企画係 ☎74-3133

今年4月、JICA（独立行政法人国際協力機構）から受け入れという形で町役場にて活動する森田隆博さん。これまで国際協力事業の最前線で活躍してきた森田さんに、これまでの経験と今後の意気込みについて伺いました。



PROFILE -プロフィール-

愛知県出身。1990年にJICAに入構し、アジア・アフリカ・中南米における国際協力事業に従事。趣味はサーフィン。

Q これまでJICAではどんなことをしていましたか？

主に地域開発や地球環境に関連する国際協力事業に携わってきたのですが、スリランカ、フィリピン、タイに駐在しました。役員の秘書や企画、財務関係の業務に従事したこともありましたが、やはり現場の仕事に最もやりがいを感じました。

Q 町での業務内容を教えてください

町の国際交流、地域おこしや多文化共生の推進などを担当しています。今後、万博の関連でミクロネシアとの交流や東京五輪でホストタウンをした縁のあるニカラグアへ日本との国交90周年にあわせて訪問することなどを予定しています。

Q JICAでの経験を自治体業務にどのように生かしていますか？

JICAの国際協力事業には地方自治体からの支援をいただいて実施しているものが多くあるのですが、関係者の献身的な取り組みが日本に対する信頼の礎となっています。自治体の持つ国際的で特別な価値を業務に反映させる機会を増やしていければと思っています。

Q 今後チャレンジしたいことは？

「国際協力を日本の文化に」というのが私の願いです。無理なく楽しく自然体で、町がその先駆けとなるよう、貢献したいと考えています。その第一歩として、甘楽の方言を使いこなせるようになりたいですね。

Q 最後にメッセージをお願いします

自然と歴史が豊かな町の一員となることが縁に恵まれて、大変幸運に感じています。たくさんの方の町の魅力を皆さんから教えていただいて、甘楽町の押し活にまい進したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



ミャンマー シャン州少数民族の村にて



タイの国際会議にて



JICA 海外協力隊便り vol.6



佐藤愛の

アイ

パラグ



▲友達とテレレ(冷たいマテ茶)を飲みながら過ごします。



日系社会を学ぶ

◀同期隊員も訪れ、現地の方に「草木塔」を案内してもらいました



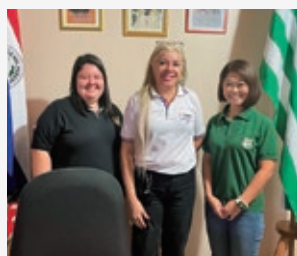
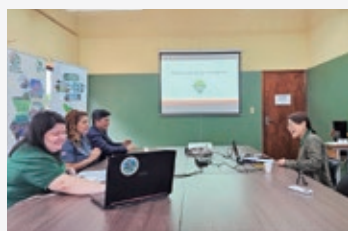
「草木塔」



「草木塔」とは草や木などの植物の命に対して感謝や供養の気持ちを表すために建てられた石塔や碑のこと

市役所にて活動の中間報告会を行い、市長や職員に私の発表を見てもらいました。私の活動もこれからいよいよ後半戦です。教育指導監督を訪問して、地域の学校での今後の活動について話し合いました。訪問する学校などの規模を拡大していく予定なので楽しみです！

▼これまでの活動を報告



▲教育指導監督(中央)を訪問

オラ コモ エスタス
¡Hola! ¿Cómo estás?(こんにちは！元気ですか?) JICA 海外協力隊でパラグアイのイグアス市に派遣中の佐藤愛です。

年明けに、日本から船でイグアスに移住してきた人や現地で生まれ育った日系人と関わる機会があり、「草木塔」を案内していただくなど日系移住地の歴史をたくさん知ることができました。地球の反対側にもう一つの日本があるようでとても不思議な感じでした。

イグアスにきてちょうど1年を迎えた3月には福島小学校の6年生とオンラインを通して、パラグアイのことや私の活動のこと、そしてキャリア教育に関する話をさせてもらいました。私の仲間も参加し、質問タイムでは交流を楽しみ、とても素敵な時間を過ごすことができました。交流後には、1年生から国旗の絵を描いた写真を送ってもらい、とてもうれしかったです。パラグアイの国旗は表と裏が違うのでとても興味深いですね！



福島小とのオンライン交流

イグアス着任から1年を記念して仲間がサプライズケーキで祝ってくれました

